

数学科	1 年	年間 140 時間（4 時間/週）
-----	-----	-------------------

1 年間計画

学期	月	単元	章（小単元）
1 学期	4	算数から数学へ	整数の性質
		数の世界を広げよう （ 正負の数 ）	正負の数 加法と減法 乗法と除法 正負の数の利用
	5		
	6		
	7	数学の言葉を身につけよう （ 文字と式 ）	文字を使った式 文字式の計算 文字式の利用
2 学期			方程式とその解き方 1 次方程式の利用
	8		
	9	未知の数の求め方を考えよう （ 方程式 ）	
	10	数量の関係を調べて問題を解決しよう （ 比例と反比例 ）	関数と比例 反比例 比例の性質と調べ方 反比例の性質と調べ方 比例と反比例の利用
	11		
3 学期		平面図形の見方をひろげよう （ 平面図形 ）	図形の移動 基本の作図 おうぎ形
	12		
	1	立体の見方をひろげよう （ 立体図形 ）	いろいろな 立体 立体の見方と調べ方 立体の体積と表面積
	2		データの整理と分析 データの活用
	3	データを活用して判断しよう （ データの分析と活用 ）	ことがらの起こりやすさ

2 学習評価

観点	評価規準	評価の方法	
		形成的評価(日々)	総括的評価(通知表)
知識・技能	正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 事象を数的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	☐ ノートやデジタル成果物 ☐ eライブラリ ☐ 小テスト	☐ 定期テスト ☐ 単元末テスト ☐ 小テスト
思考・判断・表現	数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直感的に捉え、論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見出し、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り、批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身につけている。	☐ 観察、実験レポート ☐ ノートやデジタル成果物 ☐ 学級やグループでの発言	☐ パフォーマンス課題 ☐ 定期テスト ☐ 単元末テスト
主体的に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学の良さに気づいて粘り強く考え 数学を生活や学習に生かそうとしたり問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり 多面的に捉え 考えようとしたりしている。	☐ 授業での発言やつぶやき ☐ 振り返り	☐ パフォーマンス課題 ☐ 自由研究等の自主的な研究成果物(加点) ☐ 問題集、ワークシートなどの提出物

○形成的評価…日々の学習において、成果(できたこと)や課題(できなかったことや次に目指すこと)をつかみ、復習したり次の学習に課題をもって取り組んだりするための評価

○総括的評価…各学期や年間をととしての学習の成果がどの程度であったかを示す評価

○通知表の評定について…3観点を総括して、5～1の5段階で示す

3 学習のポイント

○教科書(「新しい数学1」(東京書籍))、ノート、問題集、タブレットを毎時間準備します。

○ノートは、B5版のノートを準備してください。

- 授業は、学級教室で行います。学習係は、前日に教科担任に確認をして学級で連絡してください。
- 基礎的な知識を身に付けるためには、教科書に書かれている例題などを理解し、問題集などで練習問題などにこつこつ取り組むことが大切です。
- 学んだことを定着させるためには、復習することが効果的です。eライブラリには、たくさんの教材が用意されていますので、タブレットを使って家庭学習等に取り組むことができます。自分の課題に応じた問題等に取り組むことが望ましいです。
- 各単元末や小単元末に、パフォーマンス課題を位置付けています。探究的な課題に取り組みレポートを作成したり、探究的な問題（授業で学習した内容を活用する問題）のテストに挑戦したりします。総括的評価の「思考・判断・表現」は主にパフォーマンス課題で評価します。